

講演会

危機に瀕するメディア

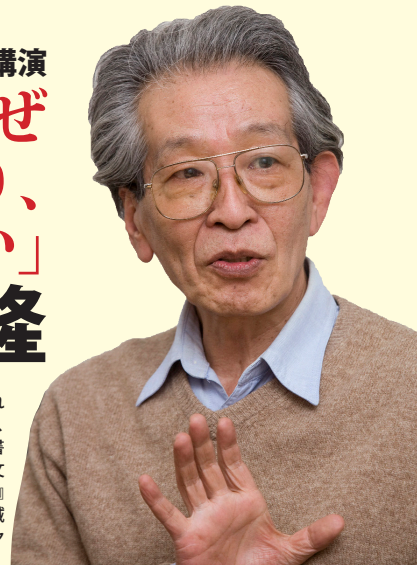
原発問題から安保法制まで

私たちは何を伝えられ、何を伝えられていないのか？

巨事故から5年。
なぜ日本では、原発再稼働が可能になり、海外
原発輸出も進んでいるのか。
安保法制、改憲、非常事態法、沖縄への強権発動。
こうした事態の中、どうして次々と、心あるキャ
スターたちが降板になるのか。
安倍政権のもと暴走する政治とメディア管理。
なぜ人々はそれを止められないのか。
なぜ人々は怒らないのか。
なぜ私たちはメディアを守れないのか。

講演

「メディアはなぜ人々を裏切り、どこに導くのか」 広瀬隆



作家、ジャーナリスト。1943年東京生まれ
早大理工学部卒業後、大手メーカー技術者、
医療雑誌翻訳業を経て執筆活動に入る。著書
に『ジョン・ウエインはなぜ死んだか』（文
春文庫）『赤い桶』（集英社）『世界石油戦争』
（NHK出版）など多数。近著に『東京が壊滅
する日——フクシマと日本の運命』（ダイヤ
モンド社）。

特別映像

「原発事故報道」

講演「政府の安全宣伝
と被害の隠ぺい」

広河隆一



フォトジャーナリスト、DAYS JAPAN 発行
人。福島の子どもの保養施設「沖縄・球美の
里」創設者、名誉理事長。チェルノブイリ原
発事故後、現地の取材と救援活動を続ける。
新刊写真集に「チェルノブイリ30年、福島
5年、人々に何が起きたか」（DAYS JAPAN 刊）

講演

「福島でメディアは 何を伝えているか」 藍原寛子



医療ジャーナリスト。元福島民友新聞社記
者。マイアミ大メディカルスクール、フィリ
ピン大、アテネオ・デ・マニラ大の客員研究
員、東大医療政策人材養成講座4期生。国際
フリーランスジャーナリスト連盟、日本公衆
衛生学会員

2016/4/20 wed 19:00開演 (18:30開場)

文京シビックホール小ホール

【住所】文京区春日 1-16-21【電話】03-5803-1100【アクセス】◎東京メトロ丸ノ内線・南北線「後楽園」駅直結
◎都営地下鉄三田線・大江戸線「春日」駅文京シビックセンター連絡通路直結 ◎JR中央・総武線「水道橋」駅徒歩約10分

【入場料】1000円（DAYS JAPAN の定期購読者は800円）、高校生以下と73歳以上無料

【申し込み】広河隆一事務所 ☎ 03(5376)7898、FAX03-3322-0353

メール hiropress@daysjapan.net

※参加者名、連絡先、DAYS JAPAN 定期購読の有無を明記ください。

主催：広河隆一事務所、後援：DAYS JAPAN